風の子

校訓　心ゆたかな子　かしこい子
たくましい子　自らはげむ子

学校教育目標　自ら学ぶ　心ゆたかな　たくましい児童の育成
学校だより　No.18　令和５年３月１７日　水戸市立堀原小学校

令和4年度「第38回卒業証書授与式」

【6年生担任より】

昨年度まで２クラスだったのが１クラスとなり、うれしい気持ちを抱いた人もいれば、不安な気持ちを抱いた人も多かったかもしれません。そのような中で、１年間皆さんと過ごしてきて、自分自身も成長させてもらいました。 新たなステージでご活躍されることを祈っています。ご卒業おめでとうございます。 諏訪　寿明	ご卒業おめでとうございます。６年間のうち３年間はコロナ禍で通常の学校生活が送れず、もどかしく、「通常」でないことが、辛かったかもしれません。これからの人生にも、辛い事や苦しい時もあると思いますが、皆さんはこんなに忍耐強く、前向きに小学校生活を送りました。それは、皆さんの糧になっています。中学校でのご活躍を応援しています。 小泉　巳江	ご卒業おめでとうございます。学習時だけでなく、学校生活の様々な場面でタブレットを自在に使いこなしている皆さんの姿を見ていると、新しい時代か到来したことを実感しました。 ４月からは中学生ですね。小学校で得た知識や経験、そして豊かな発想力をいかして大いに活躍してください。 押野　宗夫

【学校長より】

ご卒業おめでとうございます。
小学校を卒業し、新たな一歩を踏み出そうとするみなさんに、「論語」のことばを贈ります。

「学びて思わざれば則（すなわ）ち罔（くら）し」

このことばは「教えを受けただけで、自分で考えてみることをしないと、本当の力にはならない」ということを意味します。

今年は、念願の東京遠足が実現しました。この遠足では、社会科で学習したことを実際に見たり、聞いたりして、様々な気付きや感想をもつことができたと思います。「国会議事堂」や「憲政記念館」では、グローバル化する国際社会における我が国の役割や国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績についての理解を深めることができました。また、今年創立150年を迎えた「東京国立博物館」では、歴史上の主な事象と関連の深い国宝や重要文化財が、今日に至るまで保存、継承されてきたことの意味を考えることができたと思います。これらの学びから得た知識を生かして、よりよいクラスにするために「クラスのルールづくり」などの自治的に取り組む姿が見られた6学年1組。よりよい社会の創り手となるシチズンシップへとつながる大きな活動だと感心しました。一人一人の考えがクラスとしての大きなパワーとなりました。今後もさらに「？」という問いを膨らませることにより、新たな価値を創造するアントレプレナーシップを高めてほしいと思います。

みなさんが自らの可能性を最大限に発揮し、自ら行動できる自立した個人となって、一人一人の「夢（ゆめ）」・「努（ゆめ）」が実現されることを願っています。

志は高く　歩みは着実に

今後も、みなさんの活躍を応援しています。

水戸市立堀原小学校長　　鈴木　麻紀